

日本農業史学会

個別報告

2022年研究報告会

- 9:30～9:35 会長あいさつ
- 第1報告:9:35～10:15 玉 真之介 (帝京大学経済学部)
コミンテルン史観の克服のために
- 第2報告:10:15～10:55 安岡 健一 (大阪大学)
戦後日本の農業協同組合による生活改善活動の展開
—「生活基本構想」(1970年)までを中心に—
- 第3報告:10:55～11:35 坂根 嘉弘 (広島修道大学)
台湾産業組合はなぜ好成績を残したのか?—台湾産業組合の特質
- 第4報告:11:35～12:15 藤田泰裕 (京都大学大学院)
明治大正期における徳島糖業の展開—岡田家の砂糖販売を中心に

法政大学

市ヶ谷キャンパス

富士見ゲート

G502教室

アクセスマップ



シンポジウム 13:30～17:10

午後はオンライン併用



戦後沖縄農業・農村史研究 の再検討

座長:小濱 武(沖縄国際大学)

非会員の方で参加希望の方は下記学会事務局までお問い合わせください。関連情報をお伝えします。

- 第1報告:農業・農村から再考する沖縄現代史—米国統治期の砂糖生産に関連して
鳥山 淳 (琉球大学)
- 第2報告:戦後沖縄における災害と救済—1950年代後半を中心に 小濱武 (沖縄国際大学)
- 第3報告:米軍占領期沖縄からハワイへの農業実習生派遣事業
—ハワイにおける沖縄系移民のかかわりに着目して 安里陽子 (岐阜工業高専)
- 第4報告:豚たちの戦後史—激変する人と動物の関係と沖縄社会 比嘉理麻 (沖縄国際大学)

コメンテーター: 坂井教郎 (鹿児島大学)、森亜紀子 (同志社大学)

総会 17:15～17:55

問合先:日本農業史学会事務局

tel:075-753-6184 fax:075-753-6191

mail:office@agrarian-history.sakura.ne.jp

3月20日(月) 対面開催